

Project Name

市民の目で橋守れ「橋守」 サポーター養成事業

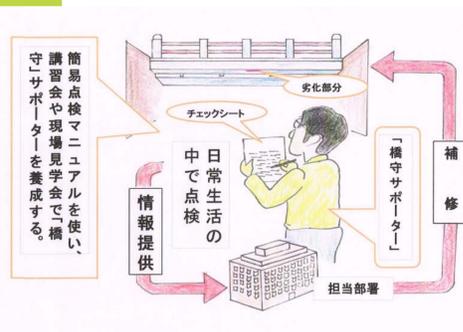
住民の目線で橋を点検し、産学官民みんなで橋を見守る

日頃なにげなく通っている橋は本当に安全でしょうか？戦後の高度成長期に何万という橋が建設されましたが、実は今、橋の老朽化が社会問題になっています。岡山県内に有する橋は全国最多といわれており、点検、メンテナンスにかかる自治体の負担も大きいものと想定されます。

そこで、われわれ一般市民がもっと橋に関心を持ち、見守る活動の必要性を感じて「橋守サポーター」を養成してはどうかと私たちTEC.ECO再生機構は考えました。

まず橋に関心を持ってもらおうと、古い歴史のある倉敷で土木遺産の見学会を企画しました。地域の研究者の話を聞き、インフラ(インフラストラクチャー:公共施設)への理解を深めてもらいます。次に、倉敷の橋で簡易点検マニュアルを使い、橋の下に入って実際に点検する見学会を開催します。これらの見学会はOB技術者が安全にわかりやすく説明しますので、誰でも参加いただけます。

この事業は、新聞やテレビで取り上げられる機会も多くなり、岡山県内での活動が期待されるようになってきました。今後は、道路管理者の点検を補完し、掃除やペンキ塗り等を通じて市民が自主的に活動できる体制を築き、産学官民みんなで協力して地域の安全を見守っていかれたらと思います。



左から順に：橋守サポーター概念図／橋守現場見学会／山陽新聞記事／橋守現場見学会

Group Name

特定非営利活動法人TEC. ECO再生機構

「現役時代の経験を活かし、社会に役立てたい」と退職した建設技術者らが2007年に設立しました。“支えられる高齢者”ではなく“高齢者パワーを地域や社会に生かしていく”そんな組織にしたいと思っています。

【お問合せ】Tel...086-441-7658 Fax...086-441-7659 E-mail...npotececo@gmail.com

担当者名...諏訪部(すわべ)正 Web...http://ww32.tiki.ne.jp/~tec-eco/



事業概要

事業の目的

社会資本の老朽化が社会問題になっています。市民レベルでいかに取り組んでいくか?「橋守」サポーター養成事業を通じて、インフラの老朽化について、警鐘を鳴らしたいと考えています。

活動内容

平成25年の新庄村や平成26年度の倉敷市の「橋守」サポーター養成モデル事業を始めとして、高校生が行う橋の点検・調査の指導や、産学官民参加の「橋守」シンポジウム開催など、テレビや新聞に取り上げられ好評でした。

団体からのメッセージ

“支えられる高齢者”から“支える主体の一員”になる、地域活動や社会貢献に関心のある人を募集しています。

私たちが大切にしていること...焦らず、明るく、あきらめず、をモットーにみんなが楽しく活動できればと考えています。仲間で集まって、イベントの準備や子どもたちを教えていると、楽しいですよ。

この活動を通じて得たもの...活動を続ける事で新聞やテレビに取り上げられる機会も多くなり、産学官民でどうにかしようという意識が高まってきたように思います。

